

平成30年3月16日

## 平成29年度 第2回「学校関係者評価委員会」年度末報告

### 1 概要

(1) 日時 3月16日(金) 15時30分～17時00分

(2) 場所 広島城北中・高等学校 第2会議室

(3) 出席者

学校関係者評価委員 三田戸坂城山小学校長(欠席)

丹戸坂中学校長(欠席)

佐伯同窓会長

藤井PTA会長

教職員

岩本校長

藤田副校長

二宮総務部長

大下教務部長

村上進路指導部長

勝間生徒部長

堀江入試広報部長

岩石国際部長代理

### 2 内容

校長挨拶及び出席者の紹介後、各部から学校経営計画に沿って平成29年度教育経営計画について、その進捗状況を中心に年度末報告を行った。

(1) 生徒部より

○ 面接週間や手帳への書き込み等を活用した「4点固定」の生活習慣確立について

○ 生徒会執行部も参加した登下校中、公共交通機関内でのマナーについて

○ 中・高合同の体育祭に向け、高校だけの第2回目を開催し、新たな伝統づくりとして中・高合同開催に向けた検討課題について

(2) 進路指導部より

○ 大学から先生をお招きして専門の講義をいただく「大学出張生講義」を

今年度は20回の企画が、予定通り開催したことによる、生徒にとって将来の自分の生き方・在り方について考える機会が提供できたことについて

- 進学実績の現時点での報告及び分析について

(3) 入試広報部より

- 塾への訪問回数の強化及び連携状況について
- 各学校案内会、入試説明会等に関するアンケートの満足度について
- 部の構成員を超えた支援体制による、中学校との連携状況について

(4) 国際部より

- 海外短期研修・海外修学旅行など、グランドデザインによる18プランの進捗状況について
- 次年度に向けた新たなグランドデザイン及びプロジェクトについて
- 国際インターンシップの内容について

(5) 総務部より

- 相談体制の確立に向けた取組及び課題について
- カウンセラーと学年会との連携に関わる課題について
- 帰属意識を高める学校行事の在り方について

(6) 教務部より

- 次年度以降のシラバス作成の進捗状況について
- 民間の学習システムを活用した学習支援の状況について
- 高大接続の新たな形の導入に対する研修計画及び実績について
- AL及びICT機器を活用した校内授業公開の実践内容について

3 評価委員からの意見及び助言

- ① 大学の合格者数の内訳が今少し分かりやすい工夫をお願いしたい。
- ② 推薦入試、AO入試、一般入試と形態がさまざまあるが、入試形態別の合格実績を分けて公表することはないのか。
- ③ 大学の合格者数はあくまで結果であるので、指導や生徒の変容が分かるような、「過程」が見えるような工夫をしていただけると保護者としては参考になる。
- ④ 城北の教育活動や教育内容が今少し情報発信があっても良いのではないだろうか。嘘はいけないが少し謙虚すぎるような気がする。英語教育は城

北の「売り」だと思っているし、他校にはない実践として積極的な情宣活動を進めて行くべきではないだろうか。要するに、他校との差別化を今少し鮮明にすることが必要だと思う。

- ⑤ 評価シートはこれまでよりも精選されて理解しやすいが、学校の具体が見えるような工夫も取り入れて欲しい。
- ⑥ 同窓会の役員会などに出ると、やはり大学の合格実績が話題になることが多い。
- ⑦ こうした学校関係者評価委員になって、はじめて知るようなこともあり、そうした意味では参加した意義を感じている。
- ⑧ 親としては自分の息子が受験を考える際に、いったいどのレベルにいるのかがやはり気になる。一定の指標を示していただいて、そういう読み取りがしやすいような工夫をお願いしたい。そうすることで子どもの変容が見てとれるようになるのではないだろうか。
- ⑨ 大学出張生講義はたいへん良かった。話を聞いた生徒たちは、実際にその大学に行ってみたい、見学してみたいという気持ちを喚起してくれる取組であり、是非、今後とも継続していただきたい。大学の講師が、こどもに話をするというよりも、大人になりかけの生徒を意識して講義をしてくださることに印象を深く持ったようだ。

